

CLUSTERPRO

MC RootDiskMonitor 2.11

for Windows

インストールガイド

© 2026(Apr) NEC Corporation

- はじめに
- 製品導入の事前準備
- 本製品のインストール
- 本製品の初期設定
- 本製品のアンインストール
- 本製品のアップデートインストール
- 本製品のダウングレードインストール
- 注意・制限事項

改版履歴

版数	改版	内容
1.0	2015.3	新規作成
2.0	2016.3	Microsoft .NET Framework のダウンロード先 URL を追記
3.0	2017.4	バージョンアップに伴い改版
4.0	2018.4	バージョンアップに伴い改版
5.0	2018.6	商標の記載を修正
6.0	2019.4	バージョンアップに伴い改版
7.0	2020.4	バージョンアップに伴い改版
8.0	2021.4	バージョンアップに伴い改版 ファイル構成に物件追加 動作要件の修正 インストール先のデフォルトフォルダーを変更
9.0	2022.4	バージョンアップに伴い改版
10.0	2023.4	バージョンアップに伴い改版
11.0	2024.4	障害解析情報収集ツール(rdm_collect_info.bat)を提供
12.0	2025.4	バージョンアップに伴い改版
13.0	2026.4	バージョンアップに伴い改版

はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.11 for Windows (以後 RootDiskMonitor と記載します) のインストール方法および初期設定手順について説明します。

(1) 商標および登録商標

- ✓ CLUSTERPRO は、日本電気株式会社の登録商標です。
- ✓ log4net は、Apache Software Foundation の登録商標または商標です。
著作権、所有権の詳細につきましては、本製品をインストール後、以下の LICENSE ファイルを参照してください。
【インストールフォルダー】¥HA¥RootDiskMonitor¥bin¥LICENSE.txt
- ✓ その他記載の製品名および会社名は、すべて各社の商標または登録商標です。
なお、本書では®、TM マークを明記しておりません。

目次

1. はじめに.....	1
2. 製品導入の事前準備.....	2
2.1. 準備するもの.....	2
2.2. 動作要件.....	4
3. 本製品のインストール.....	7
3.1. インストール.....	7
3.2. インストール後の確認.....	12
3.3. ファイル構成.....	14
4. 本製品の初期設定.....	16
4.1. 設定ファイルの自動生成.....	16
4.2. 設定ファイルの適用.....	16
4.3. サービスの起動.....	16
5. 本製品のアンインストール.....	17
5.1. ファイルのバックアップ.....	17
5.2. アンインストール.....	18
6. 本製品のアップデートインストール.....	20
6.1. アップデートインストール.....	20
6.2. アップデートインストール後の確認.....	21
7. 本製品のダウングレードインストール.....	22
7.1. ダウングレードインストール.....	22
8. 注意・制限事項.....	23
8.1. ダウングレードインストールにおける注意事項.....	23

1. はじめに

本書は、本製品のインストールおよびアンインストールを行うシステム管理者を対象読者とし、それぞれの方法について説明します。

本書での表記規則について、下記のように定義します。

記号表記	使用方法	例
『』	画面名の前後	『プログラムと機能』が表示されます。
「」	参照するマニュアル名の前後 参照する章および章のタイトル名の前後	「CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.11 for Windows インストールガイド」を参照してください。 「2.1 インストール媒体の構成図」を参照してください。
【】	ファイル名およびフォルダー名の前後	【インストールフォルダー】¥HA¥RootDiskMonitor ¥conf¥rdm.config
[]	項目名の前後	[プログラムと機能] を選択してください。
斜体、太字	ボタン名	OK を押してください。

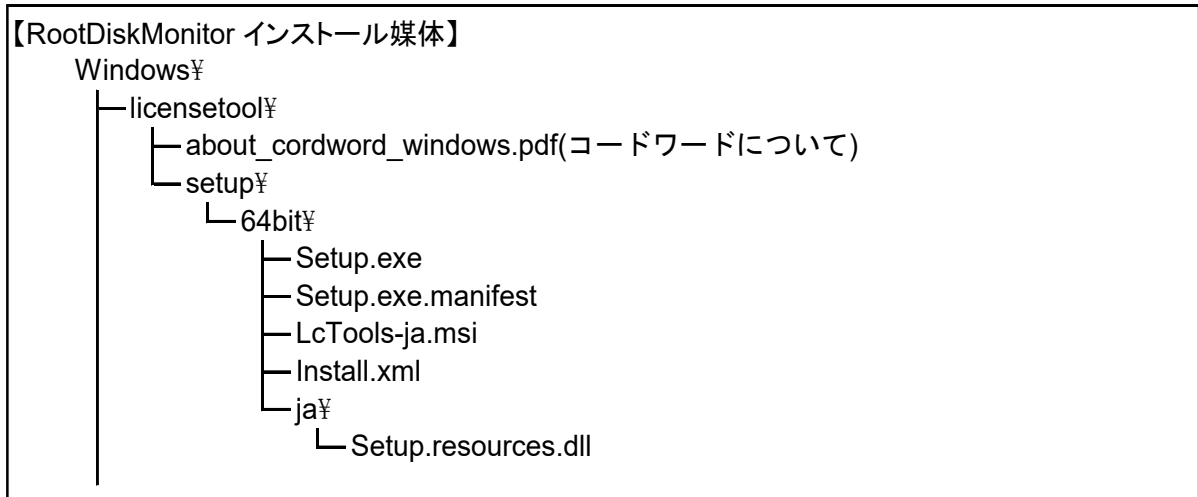
2. 製品導入の事前準備

2.1. 準備するもの

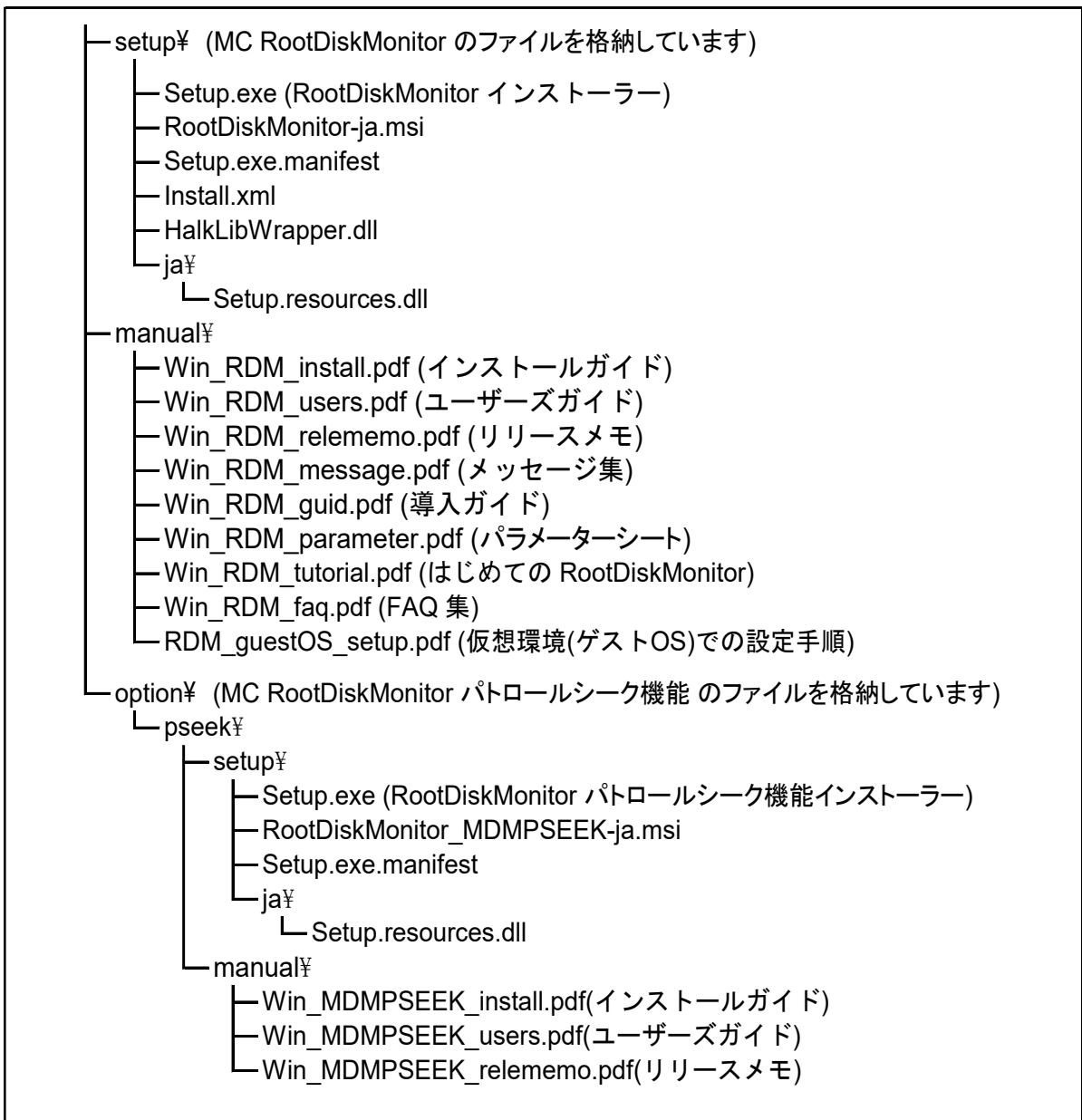
本製品が含まれるインストール媒体を用意してください。

本製品のインストーラーおよび各コンポーネントが、次のとおりインストール媒体に収録されていることを確認してください。

・インストール媒体の構成図



※次ページに続きます。



2.2.動作要件

(1) ソフトウェア要件

本製品の動作環境として Microsoft .NET Framework 4.6.2 以降が必要です。

通常は、対応 OS をインストールした場合、プリインストールされます。

[サーバー マネージャー] の [役割と機能の追加] より、

インストールされていることを確認してください。

・Microsoft .NET Framework のインストール状態の確認手順

[スタート] メニュー - [管理ツール] - [サーバー マネージャー]

上記手順で、[サーバー マネージャー] が表示されるので、[役割と機能の追加] を選択してください。



図 1 サーバー マネージャー画面

インストールされている.NET Framework は、
[役割と機能の追加ウィザード] - [開始する前に] 画面で、[機能]を選択すると、
下記画面が表示されますので、確認してください。

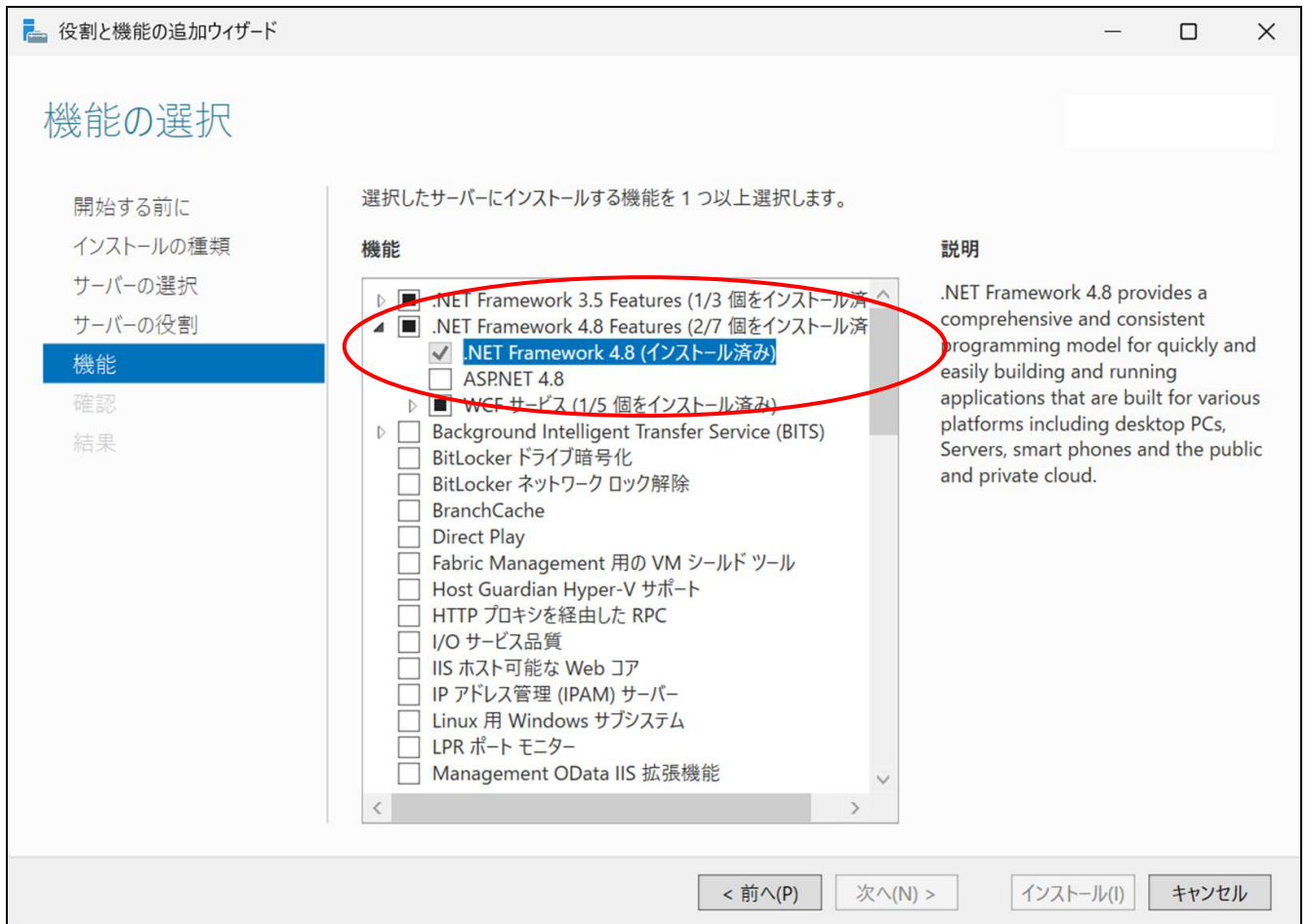


図 2 役割と機能の追加ウィザード

※上記は .NET Framework 4.8 の場合の図です。

3. 本製品のインストール

3.1. インストール

本製品のインストール手順について説明します。

-
- 注意
- ・インストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザーで行ってください。
 - ・本製品の動作環境として Microsoft .NET Framework 4.6.2 以降が必要です。
事前にインストールされていることを確認してください（「2.2 動作要件」(1) を参照）。
 - ・インストール前にライセンスツールのインストールを行ってください。
 - ・コードワードの登録を行う場合、「コードワードについて」を参照してください。
-

- (1) 本製品が含まれるインストール媒体を CD/DVD ドライブに挿入してください。
- (2) 媒体に格納されている【Setup.exe】を実行してください。
※【Setup.exe】の所在については、「2.1 準備するもの」のインストール媒体の構成図を参照してください。
実行すると下記画面が表示されますので、**次へ(N)** を押してください。



図 3 インストーラー準備画面

-
- 注意 Microsoft Windows Server 2025 以降において Setup.exe を実行した際、セットアップ画面起動と同時に Windows Terminal が起動する場合がありますが、インストールに影響はありません。起動した Windows Terminal は無視してインストール手順に従ってセットアップ画面を操作してください。
なお、インストール終了後に Windows Terminal は自動で終了します。
-

- (3) インストール先のフォルダーを指定します。
指定したフォルダー配下に "HA¥RootDiskMonitor" フォルダが作成され、各ファイルがそのフォルダーにインストールされます。
デフォルトのインストール先ドライブは、最も空き容量の大きいドライブです。通常は "C:¥Program Files" です。

デフォルトの設定でインストールする場合は、**次へ(N)** を押してください。



図4 インストール先のフォルダー表示画面

インストール先を変更する場合は、直接インストール先を入力するか、**参照(R)** を押してください。
参照(R) を押した場合、下記画面が表示されます。
インストールするフォルダーを入力もしくは選択して、**OK** を押してください。

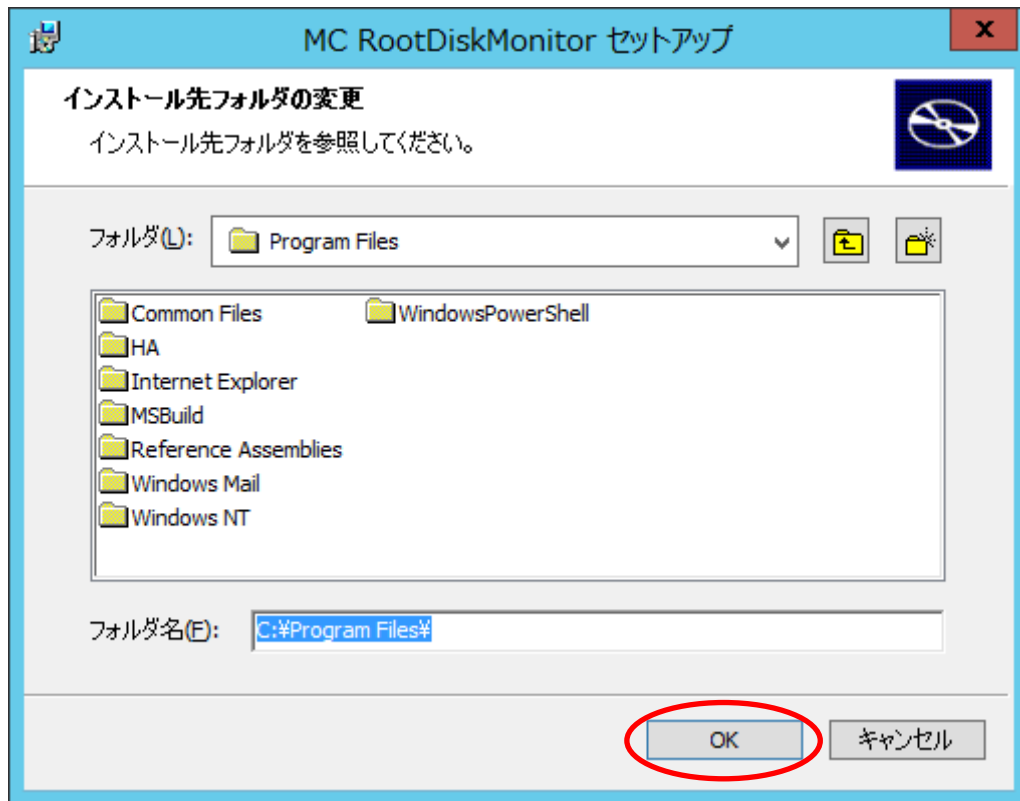


図5 インストール先のフォルダー変更画面

注意 インストール先のフォルダーには、ネットワークドライブ上のフォルダーは指定できません。必ずローカルドライブ上のフォルダーを指定してください。

- (4) **インストール(I)** を押してインストールを開始してください。



図6 インストール開始画面

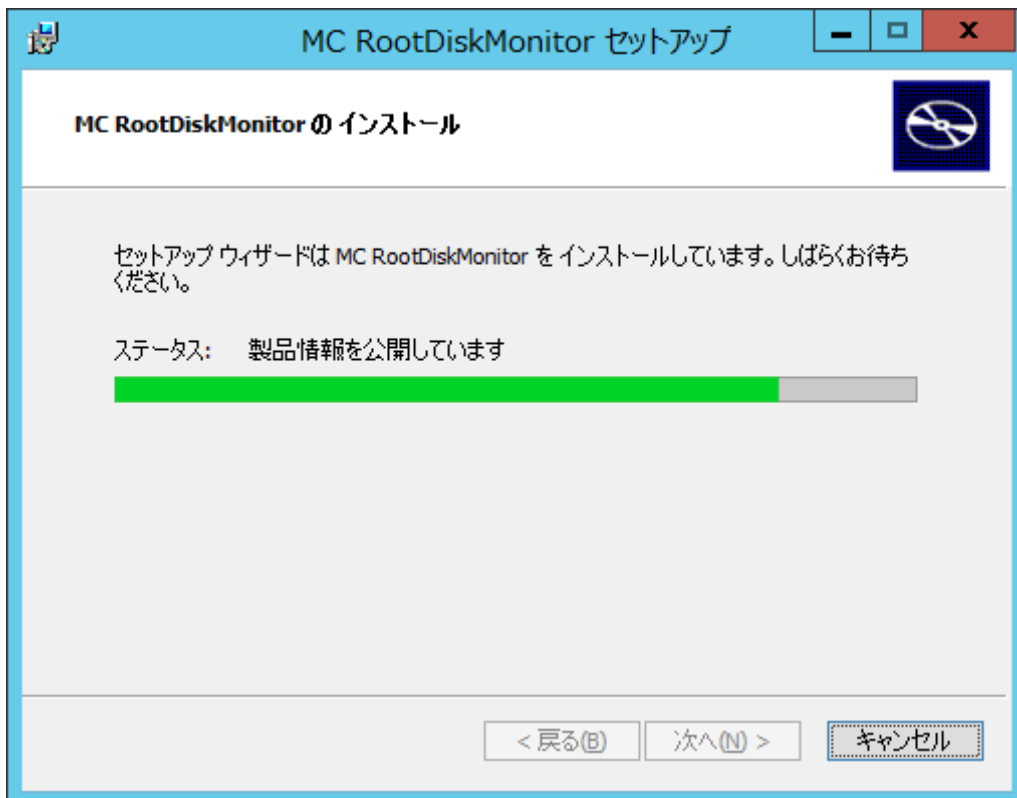


図7 インストール中の状態

- (5) 本製品のインストールが完了すれば、下記画面が表示されます。
完了(F) を押して【Setup.exe】を終了してください。



図8 インストール完了画面

インストール後にコードワードを登録する場合、以下のメッセージが出力されます。
OK を押してください。

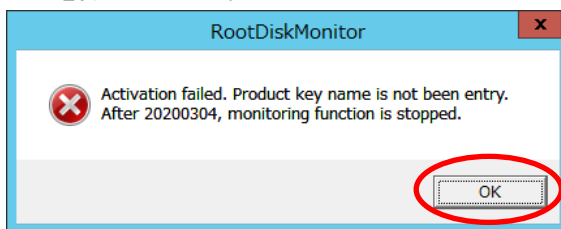


図9 猶予期間中メッセージ

注意 上記はコードワードの登録が確認できないため、YYYYMMDD 経過後に
RootDiskMonitor の機能を制限することを示すメッセージです。
機能制限については、「CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.11 for Windows ユー
ザーズガイド」の「5.4. 機能制限について」を参照してください。

本メッセージが出力された場合、コードワードを登録してください。
手順は「CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.11 for Windows リリースメモ」の
「2.2.2. ソフトウェアパッケージのインストール後にコードワードを登録する方法」を参照し
てください。

以上で、本製品のインストールは終了です。

3.2. インストール後の確認

- (1) 『プログラムと機能』で本製品がインストールされていることを確認してください。
スタートメニューから [コントロール パネル] - [プログラムと機能]
上記手順により、下記画面を表示します。
一覧に [MC RootDiskMonitor] が登録されていることを確認してください。

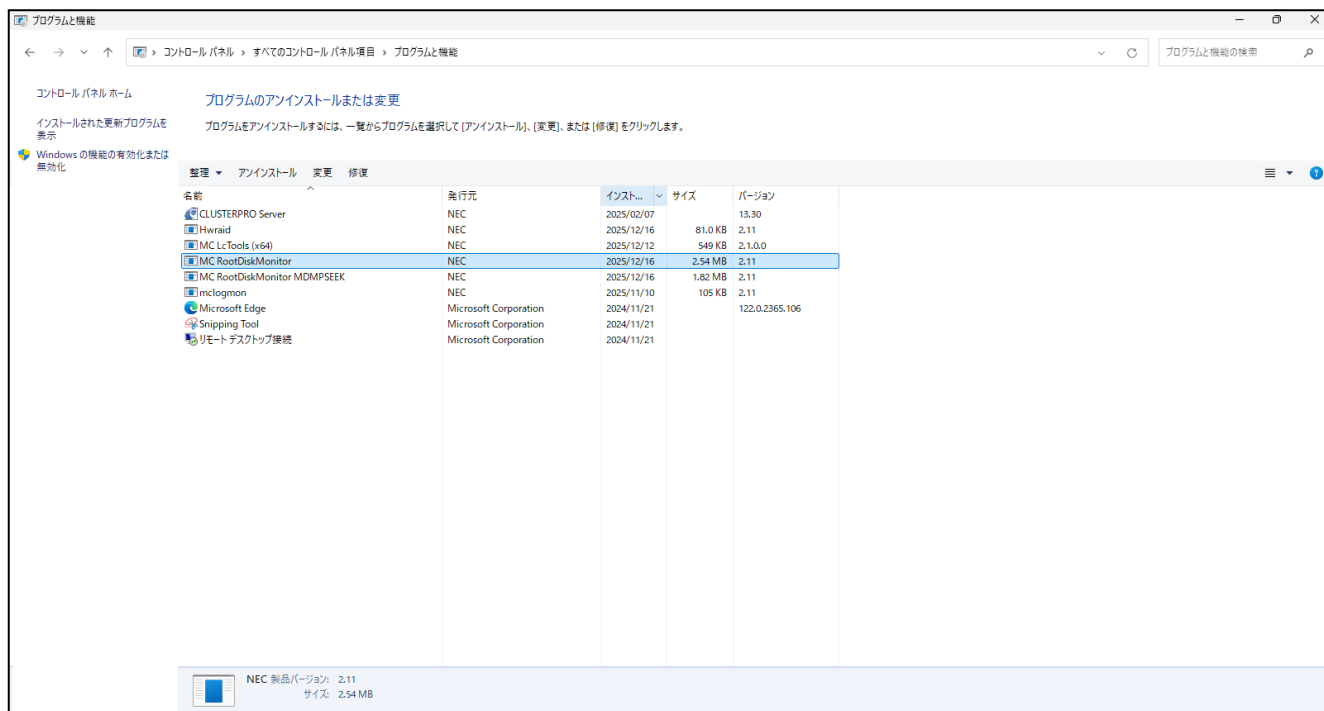


図 10 『プログラムと機能』

(2) 『サービス』に本製品のサービスが登録されていることを確認してください。

[スタート] メニュー - [コントロール パネル] - [管理ツール] - [サービス]

上記手順により、『サービス』を表示します。『サービス』で表示される内容が下記と同じことを確認してください。

- ・ [名前]: [HA RootDiskMonitor]
- ・ [スタートアップの種類]: [自動]

注意 インストール直後には、サービスを自動起動しません。設定ファイルの設定後、個別にサービスを起動してください。
設定ファイルの設定やサービスの起動については、「MC RootDiskMonitor 2.11 for Windows ユーザーズガイド」を参照してください。

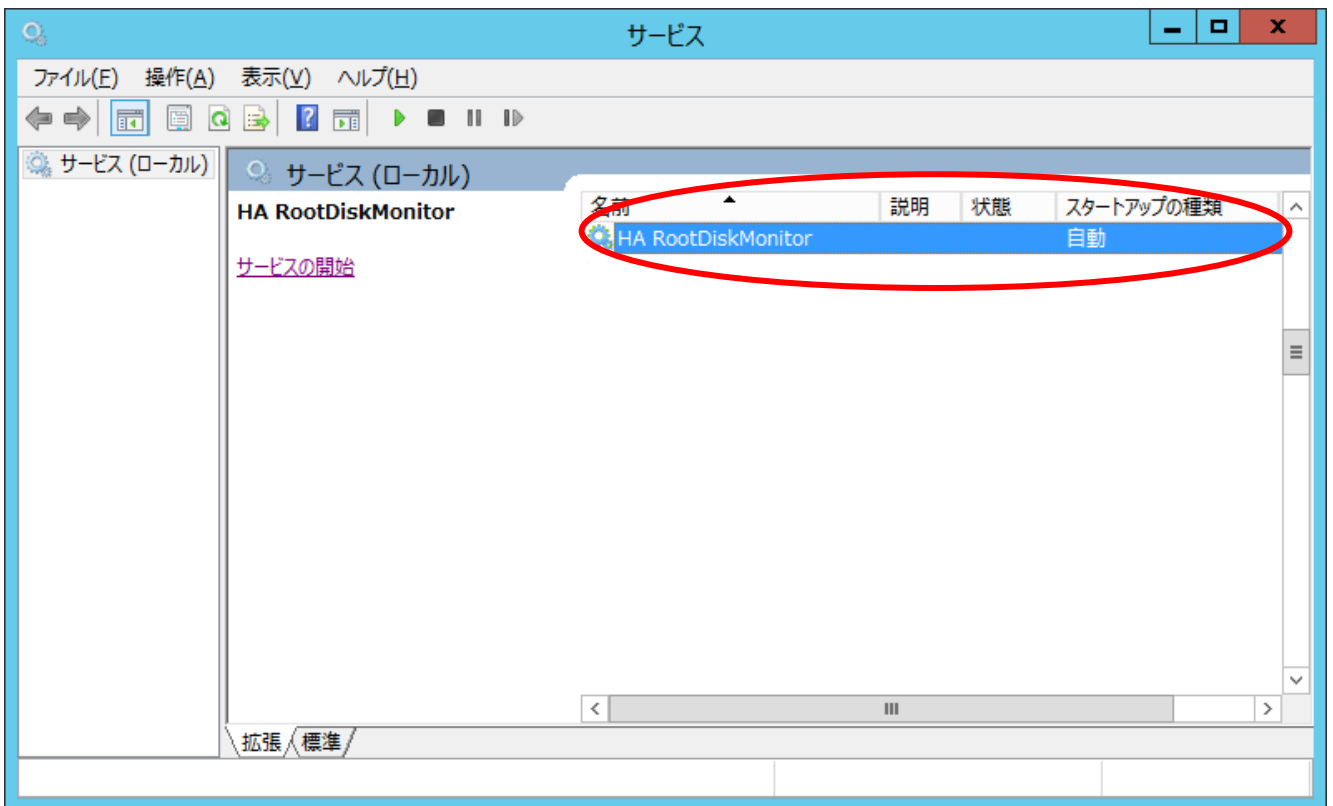
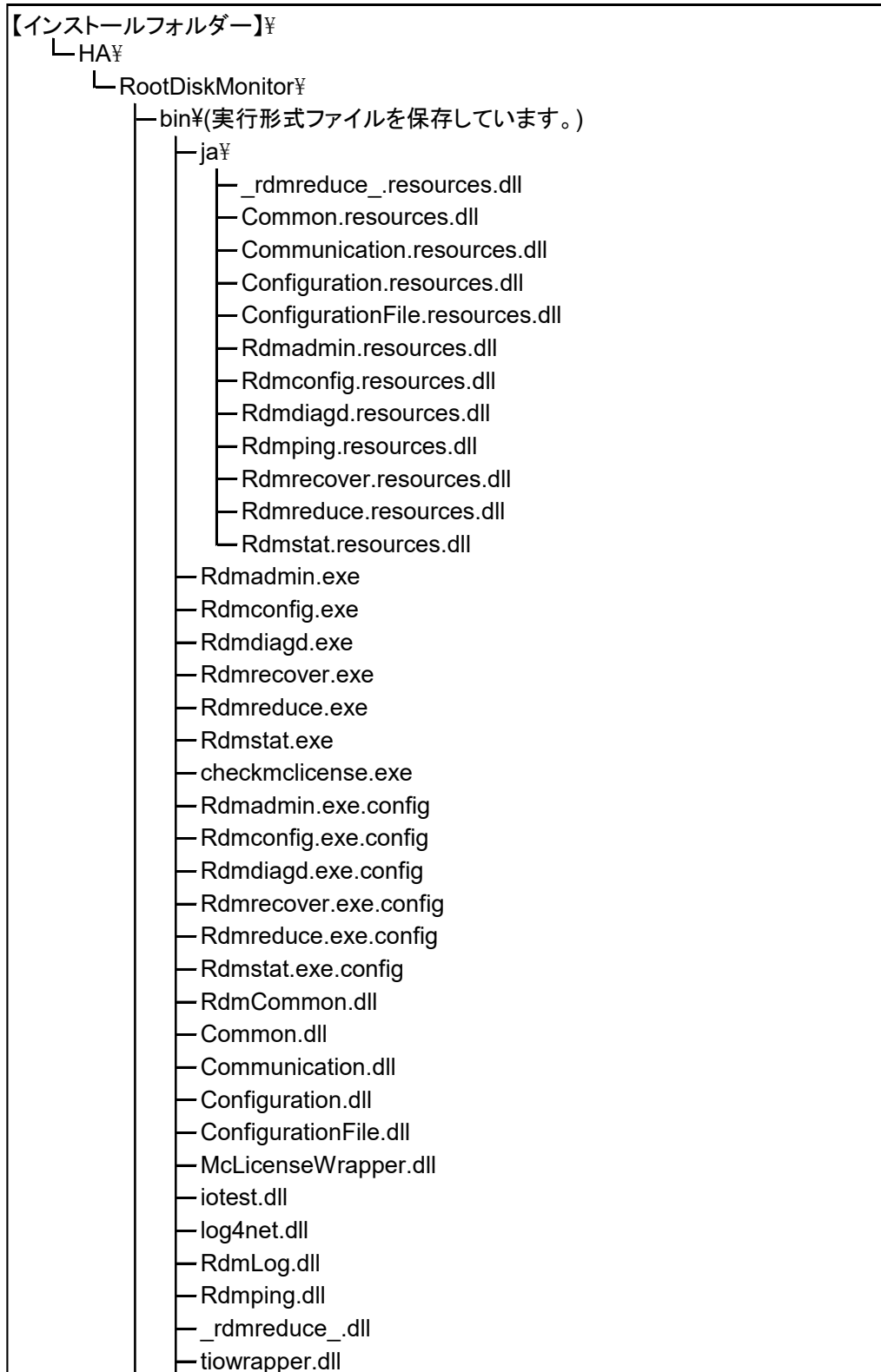


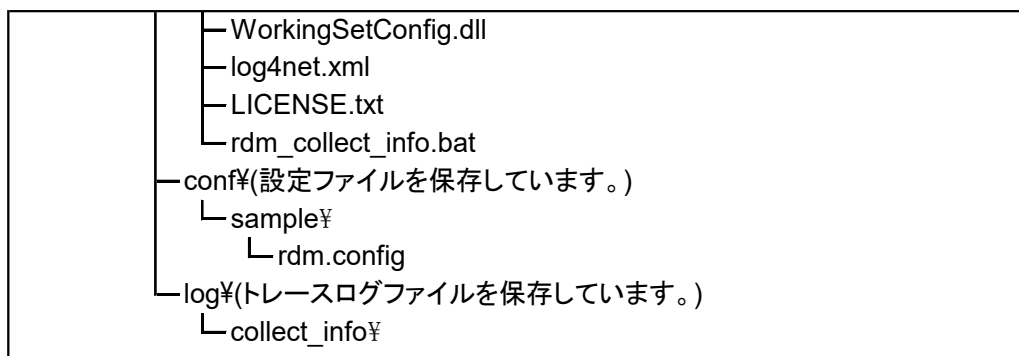
図 11 『サービス』

3.3.ファイル構成

下記のとおり本製品がインストールされていることを確認してください。



※次のページに続く



※【インストールフォルダー】のデフォルトパスは、"C:¥Program Files" です。

4. 本製品の初期設定

4.1. 設定ファイルの自動生成

Rdmconfig コマンドを実行して、監視に必要な 設定ファイルを自動生成します。
オプションの詳しい指定方法については、
「CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.11 for Windows ユーザーズガイド」を参照してください。

4.2. 設定ファイルの適用

Rdmconfig コマンドで自動生成した 設定ファイルを実行環境に適用します。
適用方法については、「CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.11 for Windows ユーザーズガイド」を
参照してください。

4.3. サービスの起動

HA RootDiskMonitor サービスを起動し、本製品による監視を開始します。

以上で、本製品の初期設定は完了です。

5. 本製品のアンインストール

5.1. ファイルのバックアップ

設定ファイルやログファイルが必要な場合は、事前にバックアップしてください。
バックアップ対象のパスは下記のとおりです。

設定/ログファイル

【インストールフォルダー】¥HA¥RootDiskMonitor 配下

・conf

設定ファイルを保存しています。

・log

トレースログファイルを保存しています。

※【インストールフォルダー】のデフォルトパスは、"C:¥Program Files" です。

補足 インストール後に作成されたフォルダーやファイルは削除されません。

5.2. アンインストール

本製品のアンインストール手順について説明します。

注意 ・アンインストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザーで行ってください。

- (1) 下記手順により本製品のアンインストールを行います。
[スタート] メニュー - [コントロール パネル] - [プログラムと機能] を
選択してください。
- (2) 『プログラムと機能』が表示されますので、[MC RootDiskMonitor] を選択し、
アンインストール ボタンを押してください。

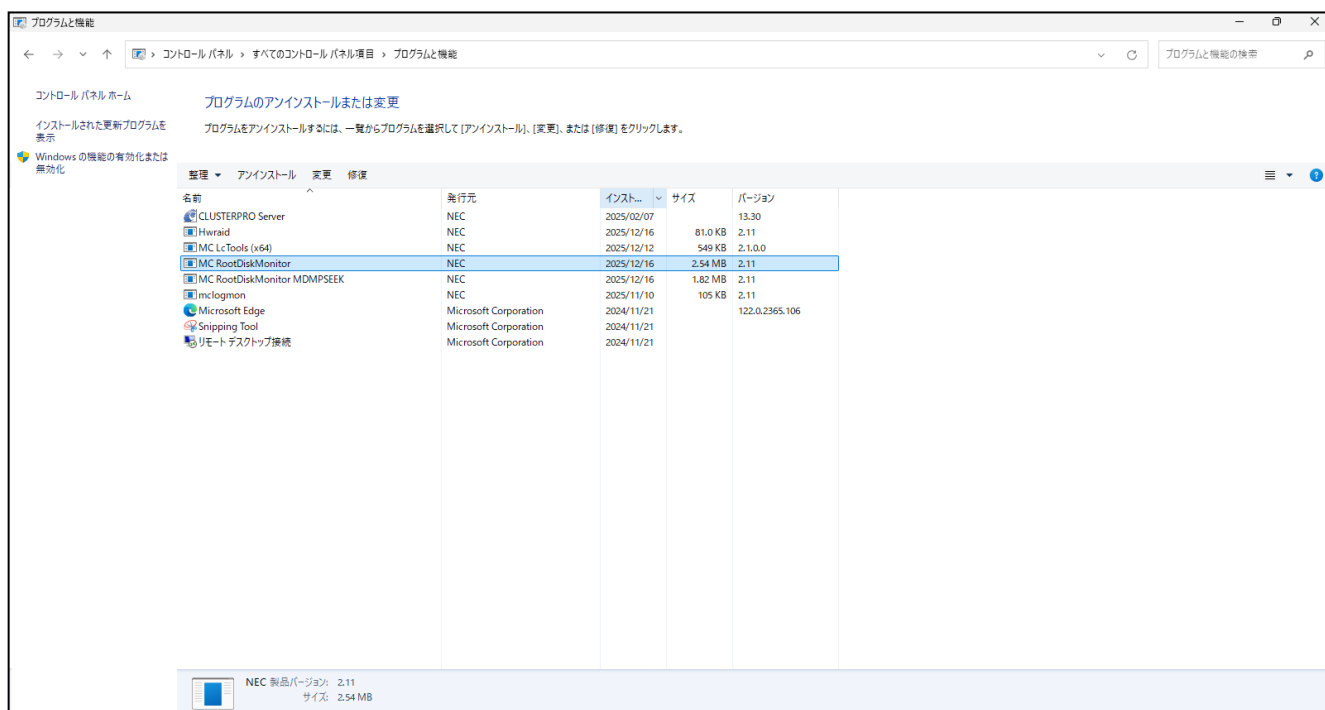


図 12 『プログラムと機能』

- (3) **アンインストール** ボタンを押すと下記画面が表示される場合があります。
はい(Y) を押すと本製品のアンインストールが開始されます。

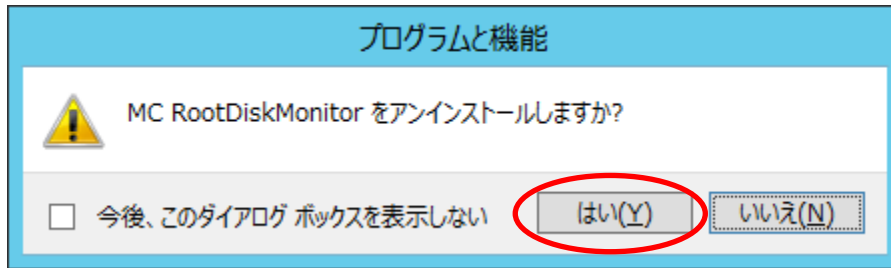


図 13 削除確認画面

- (4) 不要なファイルを削除します。
アンインストールにより削除されるのは、インストール時に作成されたフォルダーおよびファイルのみです。
設定ファイル・ログファイルなど運用時に作成されたファイルについては、削除されません。
これらのファイル(インストールフォルダー配下) が不要な場合は、削除してください。

以上で、本製品のアンインストールは終了です。

6. 本製品のアップデートインストール

6.1. アップデートインストール

本製品のアップデートインストール手順について説明します。

注意 ・アップデートインストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザーで行ってください。

- (1) 本製品を起動している場合は、本製品のサービス [HA RootDiskMonitor] を停止してください。
- (2) 本製品が含まれるインストール媒体を CD/DVD ドライブに挿入してください。
- (3) 【Setup.exe】を実行してください。
※【Setup.exe】の所在については、「2.1. 準備するもの」のインストール媒体の構成図を参照してください。
実行すると下記画面が表示されますので、**はい(Y)** を押してください。



図 14 アップデートインストール確認画面

インストールされている本製品のバージョンがアップデートインストールしようとしているバージョンと同じ、または新しい場合、以下のメッセージを出力します。

OK を押して、アップデートインストールを終了してください。



図 15 インストール中止のメッセージ画面

- (4) 下記画面が表示されますので、**次へ(N)** を押してください。



図 16 インストーラー準備画面

- (5) 以降の手順は、「3.1. インストール」の(3)から(5)と同様です。

以上で、本製品のアップデートインストールは終了です。

6.2. アップデートインストール後の確認

アップデートインストール後の確認は「3.2. インストール後の確認」と同様です。

7. 本製品のダウングレードインストール

7.1.ダウングレードインストール

既にインストールされている RootDiskMonitor よりも前のバージョンの RootDiskMonitor をダウングレードインストールすることはできません。ダウングレードする場合は、インストールされている RootDiskMonitor を一旦アンインストールしてから、古いバージョンの RootDiskMonitor を新規インストールしてください。なお、RootDiskMonitor のアンインストール手順については「5. 本製品のアンインストール」、インストール手順については「3. 本製品のインストール」を参照してください。

8. 注意・制限事項

8.1. ダウングレードインストールにおける注意事項

既にインストールされている RootDiskMonitor よりも前のバージョンの RootDiskMonitor をダウングレードインストールすることはできません。ダウングレードする場合は、インストールされている RootDiskMonitor を一旦アンインストールしてから、古いバージョンの RootDiskMonitor を新規インストールしてください。

CLUSTERPRO
MC RootDiskMonitor 2.11 for Windows
インストールガイド

2026年4月第13版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番地1号
TEL (03) 3454-1111(代表)

© NEC Corporation 2026

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙